

稲城市議会議員 坂田たけふみ 市政報告

平成 28 年 11 月号 【発行】坂田健史



経歴

1980 年 広島県生まれ

2007 年 WBA 世界フライ級チャンピオン【4 度防衛】

2011 年 初当選

2015 年 第 2 期当選

稲城市在住 妻と子供 3 人



元ボクシングWBA世界
フライ級チャンピオン

成 果 報 告

6 月市議会の成果：ふるさと納税の謝礼品拡充！

6 月の市議会で提案したふるさと納税の謝礼品の拡充が実現しました。

新たに追加されたのは「よみうりランド ナイト入場券（2 枚）」です。

市の観光資源を利用することにより、ふるさと納税額の増加や観光客の増加による市の活性化が期待されます。

9 月市議会での提案

1. 生活困窮家庭の子どもたちに、将来の選択肢を！

課題 経済的な理由等により、学習塾等に通えない生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援は今後の重要な課題です。

市では、受験生チャレンジ貸付事業として、学習塾等受講料費用貸付（貸付件数 30 件）や受験料貸付事業（同 23 件）を行っています。

シルバー人材センターが実施する学習教室の利用実績は、延べ人数で小学生 201 人、中学生 279 人でした。一方、平成 27 年度の家庭教師の派遣実績は 0 件でした。

坂田たけふみの応え！

家庭教師の派遣実績が0件であったのは、周知不足が問題と考えます。

市に対し、生活困窮家庭の子供たちへの学習支援に関する情報の周知徹底と周知方法の拡大を求めたところ、市より更なる周知方法の拡大に努めるとの回答を得ました。

2. 病児・病後児保育室「ぼんび」をもっと便利に！

課題 市立病院に併設されている病児・病後児保育室「ぼんび」は、保護者が仕事などの理由により家庭で看病できない場合に子どもを預かってもらえるという、大変便利な施設です。

現状の稼働率（定員に対する利用者数）は年間21.5%であり、数字上は充足しているように見えます。

しかし、インフルエンザ等の流行により、利用希望者が集中する場合には、定員数を上回る事態が予想されます。

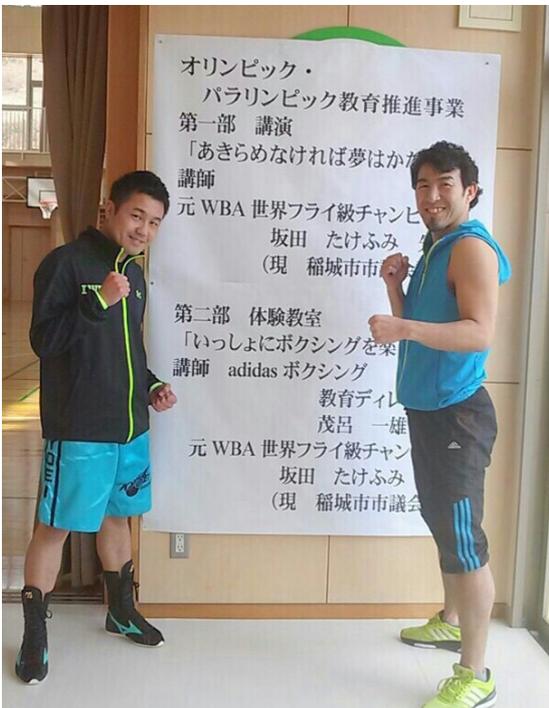
坂田たけふみの応え！

現状の稼働率のみで、当事業を拡大する必要がないと判断するのは問題です。

市に対して、しっかりとニーズ調整をして、より多くの病児・病後児の子供たちを受け入れられるよう工夫を求めました。

地 域 活 動

南山小学校でのオリンピック・パラリンピック教育推進事業の講師を務めました（H28年2月6日）



百村地区盆踊り大会にて（H28年8月5日）

稲城市議会事務局 〒206-8601 東京都稲城市東長沼 2111
代表電話 042-378-2111 FAX 042-378-9737